



ひと、つながる。
墨田区

2022.1.10 NO. 224

発行：墨田区議会事務局
130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号☎5608-6352
<https://www.city.sumida.lg.jp/kugikai/>

すみだ
区議会だより

【主な内容】
1面 令和4年 年頭のご挨拶
2面 11月議会のもよう／
代表質問（自民党・公明党）
代表質問（共産党）／特別委員会の活動／
3面 区民等との意見交換会／先進自治体の調査／
中学生区議会
4面 一般質問（6人）
5面 一般質問（4人）／
議会のパブリック・コメント／意見書／
今後の会議日程（予定）
6面 常任委員会の活動
7面 決算特別委員会のもよう
8面 各会派今年の抱負／
議決議案等の審議結果／
新日本フィルハーモニー交響楽団の
ミニコンサートを本会議場で開催

区議会だより HP


区民の皆様方には、新春を健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げ
ます。また、新成人となられた皆様方
に心からお祝いを申し上げます。

昨年は、ここ東京でオリンピック・
パラリンピックが開催され、区では国
技館を中心にボクシング競技が行われ
ました。十一月には、総合体育館にお
いて、全日本ボクシング選手権大会が
開催されるなど、区が「ボクシングの
聖地」として認知されつつありますこ
とは、まさに東京大会のレガシーであ
り、すみだの新たな魅力となるものと
期待をしているところでございます。

区では、昨年十月に地球温暖化対策
の一環として、「すみだゼロカーボン
シティ2050」を宣言いたしました。
区が「SDGs未来都市」等に採択さ
れたことも踏まえ、区議会としては持
続可能で、安全安心なまちの実現に向
けた様々な施策を後押ししてまいりた
いと考えております。

さて、新型コロナウイルス感染症の
状況は、一時よりも明るい兆しが見え
てきたところではありますが、予断を
許さない状況が続いています。区議会
では、区民の皆様方の生活と健康を守
ることを第一に、収束に向けた対策に
引き続き取り組んでまいりますので、
皆様のご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして、実り多
き年となりますように、心からご祈念
申し上げます、新年の挨拶といたします。

令和4年
迎春

年頭にあたりて



墨田区議会議長
木内 清





謹賀新年

墨田区議会は本紙上をもって
新年のごあいさつとさせていただきます。
あわせて新成人の皆さまに
お祝い申し上げます。

墨田区議会議員(議席番号順) ◀

 中村 あきひろ (立憲墨)	 たかはし のりこ (公明党)	 坂井 ユカコ (自民党)	 かんだ すなお (自民党)	 坂井 ひであき (自民党)	 たきざわ 正宜 (自民党)	 山下 ひろみ (共産党)	 藤崎 こうき (自民党)
 はねだ 福代 (公明党)	 加藤 拓 (自民党)	 しもむら 緑 (自民党)	 佐藤 篤 (自民党)	 あさの 清美 (共産党)	 井上 ノエミ (新すみ)	 堀 よしあき (無所属)	 渋田 ちしゅう (立憲墨)
 樋口 敏郎 (自民党)	 福田 はるみ (自民党)	 としま 剛 (共産党)	 あべ きみこ (墨立憲)	 大瀬 康介 (墨田オ)	 副議長 じんの 博義 (公明党)	 高橋 正利 (公明党)	 とも 宣子 (公明党)
 高柳 東彦 (共産党)	 はら つとむ (共産党)	 田中 哲 (きずな)	 加納 進 (公明党)	 おおこし 勝広 (公明党)	 議長 木内 清 (自民党)	 田中 邦友 (自民党)	 沖山 仁 (自民党)

11月議会

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費の追加を含む
補正予算などを可決

墨田区議会は、令和3年度定例会11月議会を11月29日から12月13日まで開きました。

11月29日の本会議では、各会派の代表質問を行いました。
30日の本会議では、7人の議員が一般質問を行いました。
12月1日の本会議では、3人の議員が一般質問を行った後、令和2年度各会計歳入歳出決算4件について認定したほか、区長提出議案1件について、原案どおり可決しました。

12月13日の本会議最終日は、区長提出議案26件について、原案どおり可決した後、陳情1件を採択、請願1件及び陳情1件を不採択しました。続いて、区長から追加提出された議案「令和3年度墨田区一般会計補正予算」など2件を原案どおり可決しました。さらに、議員提出議案の意見書1件を原案どおり可決しました。

代表質問

区政を問う！

令和4年度予算編成について



自由民主党
福田 はるみ



映像配信HP

問 ①8月に発表された令和3年度

都区財政調整の区別算定では、当初予算とほぼ同程度であったが、年末算定調整の見直しは。②これまで以上の行財政改革の取組が求められている中、令和4年度は区基本計画の後期計画の初年度となるが、計画の中で大幅な見直し等を検討している事業は。また、DXの推進やSDGsへの対応について、どのような創意工夫をもって予算を抑え展開していくのか。③都

答

業は積極的に採用するほか、感染急拡大への対応ができるよう、迅速な補正予算の編成等も期待する。議会も協力を惜しまない。区長の所見を伺う。

①景気回復が厳しく、法人住民税の一部国税化の影響が平年度化されたことから見直しは不透明である。行財政改革の取組を着実に進め、財政運営健全化に努めていく。②基本計画中間改定の中で、行政評価の結果等も踏まえ、施策等の見直しを行っている。個別の事業は次期行財政改革実施計画に基づき、事業の必要性等も踏まえ整理していく。DXの推進やSDGsへの取組は、事業の妥当性や経済性等を踏まえ実施していく。③国の不合理な税制改正は、本区の財政に

て、来年度も当初予算で計上できる事

も大きな影響を及ぼしている。国の責任で地方税財源の充実・確保が図られるよう、引き続き区長会を通じて是正を求めていく。④感染症対策では、今年度は6回の補正予算を編成し、予備費も4億円まで増額して、機動的に対応してきた。今後も感染症の状況に応じ迅速な対応を行っていく。

新型コロナウイルス接種について

問

3回目の接種が開始されるとの報道があるが、本区の接種状況と1・2回目の接種を終えての総括を伺う。集団接種についても、これまでの経験を生かし、大規模接種会場等の活用継続を求めるが、3回目の接種スケジュールや周知について、区長はどう考えているのか。あわせて、3回目の接種においても医師会等の協力が得られるのか。また、どのような体制で臨むのか伺う。

答

医師会等と連携して集団接種体制を迅速に構築し、区民にも協力をいただいた結果、国の目標を2か月程度前倒しで達成した。3回目接種もこれまでと同様、集団接種会場を中心に進めていく。12月から医療従事者の接種を開始する予定であり、1月からは高齢者施設入所者等、1月下旬からは高齢者の接種を始める。区報特集号を全戸配布し周知を行う。今回は、これまでの経験を生かし、集団接種会場の運営等を民間委託するほか、本部体制は引き続き全庁で対応していく。

公共施設の改修について

問

①旧すみだ健康ハウスは、コミュニティ施設としての活用と合わせて八広児童館の移転先として、令和4年度運用開始とされていた。新型コロナウイルスの影響もありスケジュールの変更は理解できるが、いつ改修工事を行い再開するのか。②区の学校施設の約

自転車活用機会の増大に向けた
新たな対策を！



公明党
おおこし 勝広



映像配信HP

問

①国や都が策定している自転車活用推進計画では、ウィズコロナの時代を模索した今後の計画が具体的に示されており、特に都の計画には、区市町村と連携した自転車ネットワークの形成が掲げられている。区としても早期に自転車活用推進計画を策定するべきと考えるが、その必要性についての認識は。②本区の第1種・第2種特定自転車駐車場の使用料は「駅からの利便性」が考慮されていない。区民から見て公平性等が担保される使用料に改定するべき。③本所吾妻橋駅の乗降客が増えており、周辺の駐輪対策は大きな課題である。A2出口前にある都交通局のビル解体計画があると聞いた

答

①国や都において自転車活用推進計画が策定されたことを受け、区としても新たな総合計画が必要であると考えている。令和4年度に「墨田区自転車活用推進計画」を策定し、引き続き、自転車に関する課題に取り組みしていく。②利用実態や区民ニーズも踏まえ、自転車活用推進計画を策定する中で検討していく。③これまでも都に対し、建物除却後には自転車駐車場を設置してほしい旨の要望を行っており、今後も粘り強く交渉していく。④これからの新しい生活様式を見据えて、駅周辺の各自転車駐車場の利用方法や料金形態について検討していく。

問

①今年度に調整設計、令和4年度及び5年度に改修工事を行い、6年度から新施設の運用開始を予定している。②次期「墨田区基本計画」の期間中に改築・改修を予定する学校は、八広小学校と二葉小学校の2校である。改築計画等は、決定次第、報告する。

問

隅田公園は言問通りを挟んだ南側と北側で性格が異なると感じられる。今後の整備に関する区の考え方は。民間活力の導入による新たな公園の魅力創出や利活用の広がりにより、南側と北側の回遊性が高まるよう検討していく。

答

①すみだセーフティネット住宅について、最低年間5戸程度の供給目標を設定し、国の補助金を積極的に活用するべき。②高齢者個室借上げ住宅制度に関する課題を整理・分析し、持続可能な仕組みに再構築するべき。③ひきこもりの人が住宅確保要配慮者の範囲から漏れ、不利益を受けることがないようにするべき。④来年度

住宅セーフティネット機能の強化を求める

問

①すみだセーフティネット住宅について、最低年間5戸程度の供給目標を設定し、国の補助金を積極的に活用するべき。②高齢者個室借上げ住宅制度に関する課題を整理・分析し、持続可能な仕組みに再構築するべき。③ひきこもりの人が住宅確保要配慮者の範囲から漏れ、不利益を受けることがないようにするべき。④来年度

答

①国の住宅改修の支援制度を積極的に活用するなど、数値目標も含め、住宅マスタープラン改定の中で検討していく。②住宅部門と福祉部門で更なる連携を図り、高齢者個室借上げ住宅の今後のあり方を検討していく。③生活における支援も必要であるため、関係部署で連携し、丁寧に対応していく。④様々なデータの分析や結果も踏まえて、住宅マスタープラン改定の中で検討していく。

視覚障害者等の読書環境整備の推進を

問

区にはボランティアの手作りにより、約500タイトルのデイジー図書がそろっているが、その認知度が低いことやコンテンツが少ないことが指摘されている。読書バリアフリー法の趣旨を踏まえ、都の計画策定の動向を確認しつつ、区として取組を推進することで、デイジー図書の周知とともに、広く視覚障害者等の読書環境整備が可能となると思うがどうか。

答

区では、障害者福祉総合計画で各種事業を計画している。デイジー図書については、令和2年度に作成した啓発冊子で取組を紹介しており、今後、コンテンツの更なる充実と関係者への周知を強化していく。読書バリアフリー法に基づく取組は重要であると考えており、引き続き都の動向を注視し、教育委員会とも連携して視覚障害者等の読書環境の整備を推進していく。

問

拡充された都の補助メニューを活用し、区内に第1号の水素ステーションの誘致を推進するべき。

答

今後、他区の事例も踏まえ、都の補助メニューを活用した水素ステーションの誘致の可能性について調査・研究していく。

新型コロナウイルス感染症対策 について区長の見解を問う



日本共産党
としま 剛



映像配信HP

問 感染症対策は原理的に「感染源をなくす」「感染経路を遮断する」「宿主の免疫を付ける」の3つしかないと言われており、新型コロナウイルス収束に向けてはこれらを徹底するほかない。この間の対策では、感染者数が減少するとPCR等の検査数も減少しており、これでは感染の鎖は断ち切れない。感染者が減少しているときにこそ、大規模な検査を行い、無症状の感染者の隔離・保護が必要である。ワクチン接種については、3回目接種を確実に受けてもらうこと、未接種者に接種してもらう努力を強めることが求められる。このことについて区長の戦略を伺う。

答 新たな流行が生じた場合も、新規陽性者数を抑え、早期に適切な医療が受けられる、感染症に強い体制の構築が本区の対策である。そのため3回目接種を着実に進め、区内医療提供体制とともに、保健所体制を整えることが重要であると考えている。

コロナ危機の教訓を踏まえ区の財政運営の転換を図るべき

問 コロナ危機の下、医療、介護、障害者福祉、保育等ケア労働の重要性が改めて見直されている。区は財政の効率化優先でこれらの施設への指定管理者制度の導入・民営化を進めてきたが、命を守るケアに手厚い区政へと転換を図るべき。区は行財政改革として保健所検査業務の外部委託も進めており、我が党は保健所機能の縮小につながるとして反対してきたが、今では結核予防に係る検査等、ほとんど

の検査が外部委託されている。検査業務は自前で行い、保健所機能の拡充を図るべき。また、現金給付型施策についても実施しないとし、かたくなに拒否してきたが、このような姿勢は改めるべき。大災害ともいえるコロナ危機の下、積み立ててきた基金の積極的活用を求めてきたが、暮らしや営業を守る支援策を十分に行わず、逆に基金が増えていることは問題である。新自由主義的政策からの転換を図り、公的責任をきちんと据え、真に支えあう地域社会を築くことが必要である。区政運営の基本姿勢の見直しを強く求める。

答 本区はこれまで、指定管理者制を図りながら、区民サービスの向上に努め、医療等各事業者に対しても、国等の制度を活用しながら、様々な支援策により処遇改善に努めてきた。保健所の検査技術の継承、向島・本所の両保健センターの統合については、引き続き進めていく。また、区民に最も身近な自治体として、一律の経済的給付・現金給付によらず、支援を必要とする区民等に寄り添ったきめ細かい対策を実施しており、財政調整基金についても積極的に活用しながら、独自の経済対策にも取り組んでいる。今後、区民の皆さんの命と健康を守ることを第一に、区政運営に取り組んでいく。

気候危機問題に対する区の対応について

問 気候危機については、あと10年足らずで温室効果ガスを半減で

特別委員会の活動

災害対策特別委員会

〔11月16日〕

台風の上陸等に伴う住民避難について

理事者から説明を聴取した後、質疑応答、意見交換を行った。

避難行動要支援者名簿について

理事者から説明を聴取した後、質疑応答、意見交換を行った。

区内施設調査について

防災対策に関する調査・検討のため、12月21日に、本所防災館の区内施設調査を実施することと決定した。

町会・自治会振興特別委員会

〔10月22日〕

行政調査について

今後の調査・検討に資するため、10月22日に、オンラインで立川市の行政調査を実施することと決定した。

町会・自治会との意見交換会について

今後の調査・検討に資するため、11月15日に、区内の4町会・自治会との意見交換会を実施することと決定した。

墨田区基本計画調査特別委員会

〔11月25日〕

墨田区基本計画（素案）について

理事者から説明を聴取した後、墨田区基本計画（素案）の、第1部、第2部、第3部について及び第4部のうち基本目標Ⅰ・Ⅱについて、質疑応答、意見交換を行った。

〔12月9日〕

墨田区基本計画（素案）について

墨田区基本計画（素案）の第4部のうち、基本目標ⅢからⅤまでについて、質疑応答、意見交換を行った。

区民等との意見交換会を実施しました

〔11月10日〕

すみだアーバンデザイン・アイデアコンペ参加者等との意見交換会

同コンペ等に参加された千葉大学及び情報経営イノベーション専門職大学の6人の学生の皆様と、次のテーマについて意見交換を行いました。

〔テーマ〕

- コンペ参加者から見た墨田区のイメージ、印象などについて
- ホームページ等を活用した議会からの情報発信について

議会における区民等との意見交換会

議会活動に区民等が参加することが出来る機会及び区民等の意見を反映させる機会を確保するため、墨田区議会基本条例第20条第1項に基づき、意見交換会を開催するものです。

〔11月15日〕

町会・自治会振興特別委員会意見交換会

区内の4町会・自治会の皆様と、次のテーマについて意見交換を行いました。

〔テーマ〕

- 町会が抱える課題等について
- 各町会の特徴的な取組の紹介について

委員会における区民等との意見交換会

委員会審査等に区民等の声を反映し、所管する区政の課題等に対処するため、墨田区議会基本条例第13条第5項に基づき、意見交換会を開催するものです。

先進自治体の調査を行いました

町会・自治会振興特別委員会〔10月22日〕

東京都立川市の「立川市自治会等を応援する条例」の制定経緯及び条例に基づく関連施策の内容及その成果等について調査を行いました。

ひきこもり対策特別委員会〔10月28日〕

東京都豊島区のひきこもり専用相談窓口開設後のようす等について調査を行いました。

※両行政調査はオンラインで実施しました

中学生区議会が開催されました

12月14日に令和3年度中学生区議会が開催されました。

中学生区議会は、未来の墨田区を担う子どもたちに、区政や区議会の仕組みについて学び、体験することを通じて、郷土に対する愛着心、関心を深めてもらうとともに、区政への提案・意見を聴取し、区政の参考とすることを目的に実施しており、今年で28回目となります。

当日は、3人の中学生議員が代表質問を行った後、各区立中学校2人ずつの計20人が3つの委員会に分かれ、「福祉・子育て」「安全安心・防災・環境」「産業・観光・文化」について質疑・応答を行いました。



中学生区議会のようす